

第7期（通算第24回）事業年度  
平成30年度（2018年度）

自 2018年（平成30年）4月 1日  
至 2019年（平成31年）3月31日

事業報告書

決算報告書

公益社団法人 日本オーケストラ連盟

公益社団法人 日本オーケストラ連盟  
**平成 30 年度 (2018 年度) 事業報告**  
2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで

**1. 交響楽に関する調査研究及び資料、情報の収集**

**(1) 「日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑 2018」を刊行した。**

文化庁委託事業「平成 30 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として、3,000 冊刊行。音楽関連機関、専門家等に配布したほか、全国の主たる図書館、大学、公立文化施設などに配布し、併せて連盟ホームページでも公開した。

**(2) 各種レポートを発行した。**

収集した資料、情報をオケ連ニュース等で公開し、オーケストラの発展に努めた。

**(3) ステージスタッフ会議、ライブラリアン会議を開催した。**

① ステージスタッフ会議 8 月 14 日 (火)、15 日 (水) の 2 日開催。

14 日はこの年度で閉館となる普門館、15 日はサントリーホールで行った。加盟楽団の他、全国の主要ホールの舞台担当者も参加し、両ホールの担当者の説明等を基に視察。その他情報交換の他、今後の対応策について討議した。

② ライブラリアン会議 8 月 9 日 (木)、大阪フィルハーモニー会館で開催した。

情報交換及び楽譜代理店との意見交換等有意義な議論を展開した。

**(4) 基礎資料作成の調査・検討を実施した。**

①平成 29 年度の加盟オーケストラの実績を調査し、活動実績を分かりやすくまとめ、ホームページ等で公表した。

②「子供のためのオーケストラ検証」プロジェクトを実施。名古屋フィル (鹿児島県阿久根市)、山形響 (兵庫県丹波市、淡路市) 九州響 (高知県香美市、香川県三豊市) が行った音楽鑑賞教室の 5 都市で、アンケート調査を新たに実施した。児童の生の声を数値化した他、インターネットを利用した年齢別のサンプルを収集、併せて報告書にまとめた。

**2. 交響楽振興のための公演及び講習会等の開催**

**(1) 「オーケストラの日 2019」のイベントを実施した。**

オーケストラの普及、浸透を図るため 3 月 31 日を「オーケストラの日」として、この日を中心にその前後で加盟するオーケストラが多彩な催しを行った。

①地方オーケストラは 18 の楽団が室内楽を含め、独自の演奏会を実施、約 2 万人の聴衆がオーケストラの演奏等に触れた。

②首都圏では 13 楽団が共同で、東京文化会館で開催した。演奏会は 17 楽団選抜 (地方オーケストラも一部参加) の「オーケストラの日祝祭管弦楽団」を編成し、指揮：大友直人、ヴァイオ

リン独奏：竹澤恭子で行った。

ロビーではオーケストラ早わかり等を展示したほか、小ホールでは神奈川フィル、東京ユニバーサルフィル、千葉響のそれぞれの楽員による室内楽が無料で行われた。また、指揮者体験、楽器体験の体験型音楽ワークショップも開かれた。

共催／東京・春・音楽祭実行委員会

助成／公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人ロームミュージックファンデーション

公益財団法人花王芸術・科学財団

協力／日本音楽財団（日本財団助成事業）、ヤマハミュージックジャパン

延総入場者数 約 10,000 名

## (2) 文化庁からの委託による「アジア オーケストラ ウィーク 2018」を制作した。

17 回目となる、この年度はフィリピン・フィルハーモニック管弦楽団、杭州フィルハーモニック管弦楽団（中国）の 2 楽団を招聘した。日本のホスト・オーケストラは群馬交響楽団が務め、この事業により日・中・フィリピンの 3 か国の文化交流を促進した。

<会場：久慈市アンバーホール（岩手県）>

10 月 4 日（木）群馬交響楽団&フィリピン・フィル 合同演奏会

\*5 日午前、フィリピン・フィル、アンサンブルによるアウトリーチを久慈市内で行った。

<会場：東京オペラシティコンサートホール>

10 月 5 日（金）群馬交響楽団（日本）

10 月 6 日（土）フィリピン・フィルハーモニー管弦楽団（フィリピン）

10 月 7 日（日）杭州フィルハーモニック管弦楽団（中国）

入場者数：

久慈 公演 4 日 467 名

東京 公演 5 日 1,124 名

6 日 1,144 名

7 日 1,119 名

総入場者数 3,854 名

## (3) 国際交流基金平成 30 年度文化協力／ASEAN オーケストラ支援事業を実施した。

①平成 30 年度の経験豊かな専門家の派遣は、前年度に引き続きベトナム・ホーチミン市のホーチミン市交響楽団にクラリネット奏者 1 名とコントラバス奏者 1 名の計 2 名が継続派遣された

期間：2018 年 3 月～2019 年 2 月末日までの 1 年間

## (4) 講習会セミナー等の開催

「芸術団体の社会的責任とそれを支える芸術的・教育的取り組みについて」

開催日：2019 年 3 月 21 日（木・祝）

会 場：政策研究大学院大学 大講義室

ロスアンジェルス・フィルハーモニー最高経営責任者：サイモン・ウッズ

ロスアンジェルス・フィルハーモニー最高執行責任者：チャド・スミス

### (5) インターンシップの推進

連盟が窓口となり、音楽大学、一般大学のアートマネジメントに関心のある学生を公募し、受け入れ可能な加盟オーケストラで研修を実施した。

応募人数／17名の内 10名が参加。受け入れオーケストラ 10 楽団

実施期間／8月から11月の間に1名あたり1～2週間程度の研修を実施。

### (6) その他の活動

#### ①日本音楽芸術マネジメント学会へ参加した

音楽芸術の振興や保護に係わるマネジメントや教育、政策に関する研究の推進のため参加した。

#### ②アフィニス文化財団が開催する「アフィニス夏の音楽祭」に協力した。

8月18日(土)～26日(日) 山形

ホスト・オーケストラ：山形交響楽団

#### ③2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムに関して

日本芸能実演家団体協議会、日本演奏連盟等と協力し、文化プログラム実施に向け活動した。

## 3. 青少年に対する交響楽の普及

### (1)「東日本大震災」及び「平成28年熊本地震」復興支援

#### ①4月16日(月)熊本県立芸術劇場(熊本市)午後8時開演

実施会場：熊本県立劇場コンサートホール

出演者：指揮／広上淳一 ソプラノ／高橋絵理 メゾソプラノ／清水華澄

テノール／城 宏憲 バリトン／甲斐栄次郎

管弦楽／九州交響楽団を中心にした日本オーケストラ連盟加盟楽団、海外の演奏家、熊本在住の演奏家(総勢90名弱)

合唱／九州在住の有志で編成(総勢169名)

演奏曲目：ベートーヴェン作曲 交響曲 第9番 ニ短調 作品125

主催：熊本地震復興祈念演奏会実行委員会、くまもと音楽復興支援100人委員会、NPO法人オーケストラ創造、音楽の学び舎を支援する会

共催：(公財)熊本県立劇場

協力：(公財)九州交響楽団、(公社)日本オーケストラ連盟、(公財)熊本YMCA

後援：熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊日、NHK熊本放送局、RKK、TKU、KKT、KAB、FMK、FM791、JOFC

#### ②11月21日(水)、22日(木)、23日(金)宮城県石巻市・市内吉野町、門脇東復興住宅、総合福祉会館等での、神奈川フィルによる室内楽演奏会

## (2) 東京都が主催する「子供たちと芸術家の出会う街」の制作に協力した

2019年（平成31年）2月11日（月祝）東京芸術劇場

企画・演奏：東京交響楽団

事前アウトリーチ 参加人数：1,775名

当日ワークショップ 参加人数：946名

オーケストラ演奏会 参加人数：1,868名

## 4. 交響楽に関する国際交流

### (1) 海外のオーケストラ連盟等との交流と情報交換

- ①上海で開催される第12回アジア太平洋地域オーケストラ・サミットについて、上海フィルと打ち合わせを6月5、6日に上海で行った。
- ②「アジア オーケストラ ウィーク」に招聘したフィリピン・フィルハーモニー管弦楽団、杭州フィルハーモニック管弦楽団と現地での打ち合わせを行い、音楽関係者と情報交換等を実施した。  
6月19日～6月24日 マニラ市（フィリピン）、杭州市（中国）
- ③8月25日（土）～27日（月）上海フィル事務局で開催された第12回アジア太平洋地域オーケストラ・サミット（上海）に出席
- ④国際交流基金が2019年7月に計画している「響きあうアジア・ガラコンサート」に関して、ジャカルタ、バンコク、マニラ、ホーチミンのオーケストラ活動を調査し、情報交換を実施。  
2月5日～9日 マニラ、バンコク  
2月26日～3月3日 ジャカルタ、ホーチミン

## 5. その他目的を達成するために必要な事業

### (1) 「日本オーケストラ連盟ニュース」を発行した。 年3回

オーケストラに関する特集記事、音楽界のトピックスや各種情報などを伝えるほか、加盟するオーケストラの主催公演を一覧表示。コンサートガイドの役割も果たし、単なる機関紙としてではなく調査、資料収集等で得られた知見、情報も掲載した。

7月第99号、12月第100号、3月第101号 発行部数 各9,000部

### (2) 「日本のオーケストラ」はこの年度は制作しなかった。

### (3) 政府、国会への働きかけ

- ①実演芸術団体の理念に沿った自主的な活動を助成する助成制度に改革する活動を文化芸術推進フォーラムの一員として行った。
- ②文化芸術の振興を国家戦略の基本に位置づけ「文化芸術立国」の実現に向けて、文化芸術推進フォーラムの一員として「文化省」の創設を求める「文化省創設の提言書」を政府に提出した。
- ③新公益法人制度について公益法人協会等関係団体と協力し、「収支相償の原則」等一部改正を求める活動を実施した。

④税制改正の要望を関係団体と協力し行った。

**(4) 他の実演芸術団体等との連携を深め、関係機関に働きかけた。**

芸術家会議、日本芸能実演家団体協議会（芸団協）、文化芸術推進フォーラムの一員として他の芸術団体や「劇場・音楽堂等協議会」などとも連携を図り、健全な文化芸術活動やオーケストラ運営ができる環境整備と充実に努めた。

**(5) その他**

実演芸術の価値と魅力をより多彩に発信されるよう、新聞、放送などをはじめとする各種マスメディアの活用を努めた。また、クラシック音楽に関する基礎的な質問に対応し、普及に努めた。

**6. その他の事業（相互扶助等事業）**

**(1) 著作権代行事業**

一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）との協定による、加盟オーケストラの使用する管理著作物の包括的申請と使用料の一括徴収と支払業務を実施した。

**(2) 共同広告事業**

朝日新聞「音楽情報」欄へ加盟会員が出稿する広告料金の一括徴収と支払業務を行う事業。この年度の広告出稿は無かった。

**(3) 互助会事業**

病気や怪我で3ヶ月以上活動できない、連盟加盟の楽団に所属する楽員・職員への無利息による貸付制度。この制度の利用を促すパンフレットを作成、配布した。

**会議の開催**

**○理事会 平成30年度（2018年度） 計5回**

第1回	5月30日（水）	（東京）機械振興会館
第2回	6月18日（月）	（東京）機械振興会館
第3回	11月28日（水）	（決議の省略による）
第4回	3月13日（水）	（決議の省略による）
第5回	3月27日（水）	（東京）機械振興会館

**○総会 平成30年度（2018年度） 計2回**

定時総会	6月18日（月）	（東京）機械振興会館
臨時総会	12月25日（火）	（決議の省略による）

○運営委員会 第214回 ～ 第221回 計8回

4月20日(金)、7月18日(水)、9月28日(金)、10月25日(木)  
11月22日(木)、12月14日(金)、1月21日(月) (\*運営委員会及び首都圏連絡会合同会議)  
2月19日(火)

運営委員(13名):

佐藤 隆文	理事長
金山 茂人	副理事長
西濱 秀樹	専務理事
吉井 實行	専務理事
桑原 浩	常務理事・事務局長
井形 健児	広島交響楽団 事務局長
市川 雅敏	札幌交響楽団 事務局長
工藤 真実	東京フィルハーモニー交響楽団 常務理事・事務局長
櫻井 龍一	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 専務理事
佐野 旨行	東京都交響楽団 パトロネージュ担当
中濱 正晃	京都市交響楽団 シニアマネージャー
二宮 光由	大阪交響楽団 楽団長・インテンダント
山本 雅士	セントラル愛知交響楽団 音楽主幹

○地方オーケストラ連絡会/首都圏オーケストラ連絡会「合同会議」 計1回

8月21日(火)、22日(水) (山形) 山形県 JA ビル会議室

○首都圏オーケストラ連絡会 第415回 ～ 第423回 計9回

4月23日(月)、5月21日(月)、7月5日(木)、9月21日(金)、10月22日(月)、  
11月19日(月)、12月17日(月)、1月21日(月) (\*運営委員会及び首都圏連絡会合同会議)、  
2月15日(金)

○地方オーケストラ連絡会 計2回

4月17日(火)、18日(水) 高崎  
8月21日(火) 山形

○首都圏「オーケストラの日」実行委員会 計9回

11月9日(金)、12月13日(木)、1月15日(火)、2月14日(木)、2月18日(月)、  
2月26日(火)、3月15日(金)、3月20日(水)、3月25日(月)

○「子どものためのオーケストラ検証」プロジェクト委員会の開催 計3回

4月13日(金)、4月26日(木)、9月5日(水)

## 外部の委員会・協議会等への協力

- 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会（以下、「芸団協」）の監事として金山茂人／副理事長、理事として桑原浩／常務理事・事務局長が参加した。
- 公益社団法人日本演奏連盟常任理事として吉井實行／専務理事が参加した。
- 芸術家会議の常任幹事として桑原 浩／常務理事・事務局長が参加した。
- 芸団協「実演芸術振興委員会」委員として桑原浩／常務理事・事務局長が参加した。
- 公益財団法人公益法人協会評議員として吉井實行／専務理事が参加した。
- 「文化芸術推進フォーラム」運営委員として桑原浩／常務理事・事務局長が参加した。
- 公益財団法人アフィニス文化財団の理事として桑原浩／常務理事・事務局長が参加した。
- 「日本管打楽器コンクール」運営副委員長として吉井實行／専務理事が参加した。
- 演奏家権利処理合同機構（MPN）の「クラシック委員会」委員として工藤真実／東京フィルハーモニー交響楽団常務理事・事務局長、吉井實行／専務理事が参加した。
- 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会「クラシック・コンサート・マネジメント」に関する調査研究委員として桑原浩／常務理事・事務局長が参加した。
- アジア・太平洋地域オーケストラ連盟の事務局長を名倉真紀／マネジャーが務めた。

## 関係団体との連携、協力

芸団協、芸術家会議、文化芸術推進フォーラム、日本音楽芸術マネジメント学会、公益財団法人公益法人協会の会員、構成団体として参加している。



## 庶務の概要

### 1. 会員に関する事項

正会員	準会員	賛助会員	名誉会員
25	11	法人 11 個人 0	0

### 2. 会長及び役員に関する事項

役名	氏名	現職
会長	児玉 幸治	一般財団法人 機械システム振興協会 会長
理事長	佐藤 隆文	日本取引所自主規制法人 理事長
副理事長	金山 茂人	公益社団法人 日本演奏連盟 専務理事
専務理事	西濱 秀樹	山形交響楽団 専務理事
	吉井 實行	日本オーケストラ連盟役員兼職員
常務理事	桑原 浩	日本オーケストラ連盟事務局長
理事	朽木 英次	トヨタ自動車株式会社 社会貢献推進部部長
	西村 朗	作曲家
	松尾 康二	NPO 法人 音楽は平和を運ぶ 理事長
	宮脇 匠	公益財団法人 アフィニス文化財団事務局長
	吉村 融	政策研究大学院大学 名誉学長
	市川 雅敏	札幌交響楽団 事務局長
	工藤 真実	東京フィルハーモニー交響楽団 常務理事・事務局長
	国塩 哲紀	東京都交響楽団 芸術主幹
	櫻井 龍一	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 専務理事
	田中 賢治	広島交響楽団 専務理事
	中濱 正晃	京都市交響楽団 シニアマネージャー
	二宮 光由	大阪交響楽団 楽団長・インテンダント
	山本 雅士	セントラル愛知交響楽団 音楽主幹
監事	千葉 和彦	公認会計士
	箱田 英子	弁護士
顧問	岡山 尚幹	元・常務理事
	田邊 稔	元・副理事長
参与	加納 民夫	元・理事・事務局長

2019年3月31日現在

## 平成 30 年度（2018 年度）事業報告書の附属明細書

平成 30 年（2018）度 事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。